

令和7年度 事務事業評価シート（1）

[令和6年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	国内都市交流事業				事業番号	008-031	
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	文化	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化		
			有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(17)パートナーシップで目標を達成しよう			ターゲット	17.14 ,17.16	
			有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、アセアン地域などの連携促進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	
2	関連計画			—						
3	事業開始年度			昭和 61 年度			点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠			—						

事業の概要

5 事業の実施主体		本庁					
6 事業の対象		東吉野村、種子島（西之表市、中種子町、南種子町）、田辺市				対象数	単位
						5	市町村
7 事業の目的		本市と国内友好都市等との行政各分野における交流を深めることにより、お互いのまちの発展に資することを目的とする。					
8	事業内容	○本市行事等への受入 ・東吉野村小学生社会見学 ・堺まつりへの招待 ○友好都市行事への参加 ・種子島鉄砲まつり					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9 主な支出先		—					
10 公民連携・協働事業		—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	国内友好都市の交流を深める						
	当該目標を設定した理由	国内友好都市の交流を深め、互いのまちを発展させるため。					
	目標に対する実績	令和6年度も各友好都市との交流を深めた。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	国内都市交流回数	回	目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			実績値	5	5	5	
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	各友好都市との人的交流を継続・深化させることで、交流を深めることができるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	各国内友好都市の祭り及び東吉野村の社会見学、堺まつりへの招待都市数を計上した。					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	国内都市交流事業	事業番号	008-031
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	155	175	455	222	306
	国支出金	0	0	0		0
	府支出金	0	0	0		0
	市債	0	0	0		0
	その他（ ）	0	0	0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	155	175	455	222	306
14	人件費（b）	1,066	810	810	810	840
15	年間経費（c）=(a)+(b)	1,221	985	1,265	1,032	1,146

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	普通旅費	決算		64	64		決算			
		予算		272	272		予算			
	通信運搬費	決算		6	6		決算			
		予算		5	5		予算			
	有料道路通行料	決算		2	2		決算			
		予算		19	19		予算			
	堺まつり観光案内施設入場料	決算		0	0		決算			
		予算		10	10		予算			
	東大寺サミット開催負担金 （2年に1度開催）	決算		150	150		決算			
		予算		0	0		予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和5年度	令和6年度
	① 国内友好都市交流回数		回	5	5
	② 上記①にかかる年間経費		千円	175	222
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	35,000	44,400
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・種子島鉄砲まつりへ参加したほか、堺まつりや東吉野村小学生社会見学の受け入れを行う等、双方の都市のより一層の活性化をめざした。また、西之表市と堺市の小学生によるオンライン交流授業を実施し互いの都市に対する理解を深めた。 ・2年に1度開催される東大寺サミットへの負担金を支出し、サミット開催を通して行基や河内鑄物師を広く発信した。 ・令和7年度においても引き続き双方の都市の理解を深められるよう、事業効果の向上に努める。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・令和6年度における国内友好都市の交流は互いの都市の交流を深め、今後の継続的な交流の基盤を構築した。
----	--